

平成 27 年 度

八代市議会決算審査特別委員会記録

審 査 ・ 調 査 案 件

1. 正・副委員長互選等について …………… 1

平成 27 年 9 月 25 日 (金曜日)

決算審査特別委員会会議録

平成27年9月25日 金曜日

午後10時18分開議

午後10時56分閉議（実時間18分）

○本日の会議に付した案件

1. 正・副委員長互選等について

○本日の会議に出席した者

委員長	矢本善彦君
副委員長	島田一巳君
委員	友枝和明君
委員	中村和美君
委員	中山諭扶哉君
委員	福嶋安德君
委員	堀口晃君
委員	前垣信三君
委員	前川祥子君
委員	村川清則君
委員	山本幸廣君

※欠席委員 君

○委員外議員出席者中発言の許可を得た者

君

○説明員等委員（議）員外出席者

君

○記録担当書記 岩崎和平君
土田英雄君

（午後10時18分 開会）

○書記（岩崎和平君） 決算審査特別委員会の書記を担当いたします岩崎と土田でございます。どうぞよろしくお願いたします。（「よろしくお願いたします」と呼ぶ者あり）

委員会設置後、初の委員会でありますので、委員長が互選されるまでの間、委員会条例第10条第2項の規定により、年長委員が臨時に委員長の職務を行うことになっております。

出席委員中、前垣委員さんが年長の委員でいらっしゃると思いますので、御紹介申し上げます。

では、前垣委員さん、委員長席の方へお願いたします。

○年長委員（前垣信三君） みなさんこんばんわ。お疲れでございます。（「ありがとうございます」と呼ぶ者あり）ただいま御紹介をいただきました前垣でございます。

年長のゆえをもちまして、委員会条例第10条第2項の規定により、私が臨時に委員長の職務を行います。どうぞよろしくお願いたします。

◎正・副委員長互選等について

○年長委員（前垣信三君） ただいまから、委員会を開会いたします。

これより委員長の互選を行います。

お諮りいたします。

委員長の互選は、本来ならば、投票によるのが原則であります。指名推選の方法によることもできます。

いかがいたしましょうか。

○委員（山本幸廣君） 投票でお願いします、委員長。

○年長委員（前垣信三君） はい。それでは、委員長の互選は投票により行います。

なお、投票の結果、得票が同数の場合は、くじで定めることになっております。

委員会室の閉鎖を命じます。

（委員会室閉鎖）

○年長委員（前垣信三君） ただいまの出席委員は11人です。

投票用紙を配付いたします。

（投票用紙配付）

○年長委員（前垣信三君） 配付漏れはありませんか。

○年長委員（前垣信三君） 投票箱の点検をお願いします。

（投票箱点検）

○年長委員（前垣信三君） 順次投票をお願いします。

（各員投票）

○年長委員（前垣信三君） 投票漏れはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○年長委員（前垣信三君） 投票を終了いたします。

委員会室の閉鎖を解きます。

（委員会室開鎖）

○年長委員（前垣信三君） これより、開票を行います。

会議規則第127条において準用する同規則第31条第2項の規定により、立会人に、友枝委員、福嶋委員、前川委員の3名を指名します。

立会人の立ち会いを願います。

（開票）

○年長委員（前垣信三君） 選挙の結果を報告いたします。

投票総数11票。これは、出席委員数に符合いたしております。

このうち、有効投票数11票、無効投票数0票。

有効投票中、矢本委員7票、村川委員4票。

以上の結果、有効投票の最多数を得られました矢本委員が委員長に当選されました。

委員長に当選されました矢本委員の就任の御挨拶をお願いいたします。

委員長と交代します。委員長席へどうぞ。

○委員長（矢本善彦君） みなさん、こんばんは。（「こんばんは」と呼ぶ者あり）

ただいま、決算審査特別委員会の委員長の御推薦いただきまして、ありがとうございます。これから、みなさんの御協力で慎重に審議していきたいと思っておりますので、どうぞ御協力よろしくお願いいたします。

しばらく小会します。

（午後10時26分 小会）

（午後10時27分 本会）

○委員長（矢本善彦君） 本会に戻します。

それでは、副委員長の互選を行います。

お諮りします。

副委員長の互選は、本来ならば、投票によるのが原則であります。指名推選の方法によることもできます。

いかがいたしましょうか。

（「投票をお願いします」と呼ぶ者あり）

○委員長（矢本善彦君） それでは、副委員長の互選は投票により行います。

なお、投票の結果、得票が同数の場合は、くじで定めることになっております。

委員会室の閉鎖を命じます。

（委員会室閉鎖）

○委員長（矢本善彦君） ただいま出席委員は11人です。

投票用紙を配付いたさせます。

（投票用紙配付）

○委員長（矢本善彦君） 配付漏れはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（矢本善彦君） 投票箱の点検をお願いします。

（投票箱点検）

○委員長（矢本善彦君） 順次投票をお願いします。

（各員投票）

○委員長（矢本善彦君） 投票漏れはありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(矢本善彦君) 投票を終了いたします。

委員会室の閉鎖を解きます。

(委員会室開鎖)

○委員長(矢本善彦君) 開票を行います。

会議規則第127条において準用する同規則第31条第2項の規定により、立会人に、友枝委員、福嶋委員、前川委員の3名を指名します。

立会人の立ち会いをお願いいたします。

(開票)

○委員長(矢本善彦君) 選挙の結果を報告いたします。

投票総数11票。これは、出席委員数に符合いたしております。

このうち、有効投票数11票、無効投票数0票。

有効投票中、島田委員7票、前川委員4票。

以上の結果、有効投票の最多数を得られました島田委員が副委員長に当選されました。

副委員長に当選されました島田委員の就任の御挨拶をお願いいたします。

副委員長席へどうぞ。

○副委員長(島田一巳君) みなさん、改めましてこんばんは。(「こんばんは」と呼ぶ者あり) ただいま選挙で決算審査特別委員会の副委員長ということで、仰せつかりました。委員長をですね、支えながら、厳密な審査をやっていきいたいというふうに思っております。どうか皆様の御協力をよろしくお願いします。(「お願いします」と呼ぶ者あり)

○委員長(矢本善彦君) それでは、今後の委員会の進め方などについて、副委員長、事務局と打ち合わせを行いたいと思いますので、し

ばらく休憩いたします。

(午後10時34分 休憩)

(午後10時44分 開議)

○委員長(矢本善彦君) 休憩前に引き続き、会議を開きます。

それでは、ただいま打ち合わせを行いました結果について事務局から説明をいたさせます。

○書記(岩崎和平君) ただいまの正副委員長との協議結果につきまして、御報告申し上げます。

この後、委員会日程について御協議いただきますが、その前提として、審査方法と審査日数について正副委員長に判断していただいたところです。

まず、審査方法については決算審査を効率的かつ効果的に行うために、どの資料に基づいて説明を行うほうが、より委員の皆さんが理解しやすいかということを主眼に、一般会計の歳入歳出、特別会計の歳入と歳出の4つに分けて検討していただきました。

説明の方法としましては、まず、歳入については、主要な施策の成果に関する調書などによる説明では概略過ぎてわかりにくく、決算書による説明のほうが詳細でわかりやすいということで、昨年同様、決算書に基づき説明を行うことになりました。

次に、歳出については、決算書による説明では数字が細かくなり過ぎて、事業の全体像や財源内訳等がわかりにくく、主要な施策の成果に関する調書のほうが、施策、事業の単位で大きな視点から把握することができ理解しやすいということで、昨年度同様、主要施策の成果に関する調書などに基づいて説明を行うこととなりました。

なお、不用額等の説明につきましては、主要な施策の成果に関する調書とともに、決算書に基づいて説明を行うこととなりました。

また、審査日程については、昨年度の状況から、6日間ぐらいが適当だろうということになりました。

以上、正副委員長との協議結果報告といたします。

○委員長（矢本善彦君） ただいま、事務局から説明がありましたように、一般会計及び特別会計の歳入については決算書、一般会計及び特別会計の歳出については主要な施策の成果に関する調書などに基づいて審査を行いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（矢本善彦君） 御異議なしと認め、そのように決しました。

ほかに、委員会運営について何かありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（矢本善彦君） ないようですので、委員会の進め方については以上のようにお願いいたします。

それから、今回の決算審査に当たりまして、2枚つづりのレジュメを配付しておりますので、次回の委員会まで御一読いただき、参考にしていただきたいと思っております。

それでは、委員会の日程について協議を願います。

しばらく小会いたします。

（午後10時46分 小会）

（午後10時55分 本会）

○委員長（矢本善彦君） それでは、本会に戻します。

それでは、委員会の日程については、ただいま御協議いただきましたとおり、10月の5日、7日、8日、16日、26日、予備日を28日にいたしたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（矢本善彦君） 御異議なしと認め、そのように決しました。

次に、閉会中の継続審査の申し出についてお諮りいたします。

本委員会に付託されております平成26年度八代市一般会計歳入歳出決算及び特別会計歳入歳出決算11件の決算議案12件については、なお審査を要すると思っておりますので、引き続き、閉会中の継続審査の申し出をいたしたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（矢本善彦君） 異議なしと認め、そのように決しました。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

次の委員会は10月5日月曜日、10時の開会となっておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、これで本日の決算審査特別委員会を散会いたします。

（午後10時56分 閉会）

八代市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

平成27年9月25日

決算審査特別委員会

委員長